あり生産擴充のためにも大なる使命を保有しあり且滿洲自身資材特に鐵の生産地であるのでこれら諸條件より資材取得上優位に置かれ鐵道部門も準軍需として取扱はれ本年の枠は鋼材一九、八万屯を基準として進むこととなつたこれがため新複線關係は某程度に止め既設線の輸送力增強に重点を指向し施設の改良車輛の增備に努むることとなつた新複線に於ては翠黒線の竣工、京濱線複線概成を目標としたが前者は全通迄に至らず後者は橋梁と輸送拘束を來しある區間の工事に止むることとなつた

鐵道資材中石炭の配當は冬期に於ける滿洲物動業務の難題であつた石炭の開發は産業五ケ年計畫中の重要部門であるので各方面より支援し滿鐵、其の他業者も割當量出炭に努めたがこれがため亂掘に陷り出炭量の約半ばに近い滿鉄も撫順に於て既に減産となり新規事業多き滿炭に於てはその業務整然たらず從つて滿洲全體を通じ計畫と實績との喰ひ違ひは相當大なるものがあつたこれが改

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

善には採炭技術、施設動力、資材、勞力、選炭、運炭有ゆる方面の實体に入り實情を明かにして各炭坑夫に つき適切なる方法により指導援助を與へることが必要であつたが全滿各地廣範にして、交通亦不便なる各域に散在する諸炭坑に對し即急に實施して效果を擧げることは容易でない滿炭系に於て特に然りである而して石炭消費の主要部分を占める鐵道に在りては輸送力の最大限發揮を必要とし生産力擴充を必要とする總動員關係に對しても能力を最高度に利用する如く石炭を配當する必要あり加之滿洲は冬期採暖のため四百數十万屯の石炭を必要とする採暖用石炭は必需物資で食糧よりも優位に取扱はるべきものである茲に於て計畫量に比し著しく下廻はる石炭の生産量を如何に按配すべきや鑛業、鐵道、生拡、採暖を循りて月間配當計畫の決定業務は常に紛糾を極め關東軍司令部内に於ては當事者間にて難物視せられて居た處も終戰後の日本國内に於ける石炭事情に彷彿たるものがある鐵道用炭は

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

運輸用のみにて月間三十万屯以上に上り製鐵用炭に略匹敵し冬期に於ては發熱量の關係より一割以上の增加を必要とする夏期貯炭量增加により冬期に供ふる如く指導せるも實績擧らず毎年同樣のことを繰返して居たが關東軍としては供手するを得ず滿洲全般に亘る炭坑經營を刷新し特に撫順、滿炭等の分野を合理的に調整するの外炭礦長以下の現地業績を査察して對策を檢討し怠慢者を戒飭して政府及び經營者全部に亘りて勸善懲惡の處置を講ずることにより改善するを得た

滿鐵資材の現況を明かにしてその保有量を規正することは戰時準備のため重要事項であるかそれ迄に飛躍することを得ず關東軍の初動輸送一在滿兵力の國境集中輸送を謂ふ一のための貯炭及び鐵道動員實施用資材を確保する程度であつた

10 鐵道の戰時準備及び防空

(イ) 昭和十四年度末を期して實施せられた滿鐵第三次增資に關聯し

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

て提唱せられた滿鐵法人格改變問題は鐵道の戰時準備上極めて重要な案件である蓋し鐵道を戰時作戰兵器として觀るか否かの問題である本問題は滿洲國が國防國家として育成せられ滿洲國の政治經濟と不可分關係に在る鐵道が獨り日本法人として滿洲國政府の統制埒外に殘ることは極めて不自然のことであり法人格を改め日滿法人として日滿兩國政府の監督指導下に置かんとするものである鐵道を本質的に考へれば正にその通りである然し滿洲に在りては滿洲國の政治、經濟の內面指導は關東軍司令官の任務であり滿洲國政府はこれを表面上に立ちて具現する機關である滿洲國國有鐵道の管理が關東軍司令官の擔任なるに於てはこの間何等罅隙があるわけはないこの間の事情を無視して單に表面的に觀れば前記の樣な理論も成立するがこれは一考を要する何故に關東軍司令官に凡てを歸一した組織としたかそれは滿洲國成立が我が國策の具現實行のためこれが一環としての

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

滿洲國であり日本にとりては國防第一線の滿洲國である鐵道は作戰上の要器として軍隊と一体のものとして取扱ふべきもので、ある日本國の統帥權下にある軍隊を動かして作戰する鐵道は日本軍の自由に使用し得る如く平時より準備し施策すべきが當然であるこの見地より滿鐵は日本法人として關東軍司令官の直接監督指導下に置くことが戰時準備上必要なることであるこの見地に於て滿鐵の法人格改變は當時の狀況より適當ならずと判斷せらる然し戰時準備以外の立場より觀れば滿洲國の基礎固まり日滿一体の國家經營の上に立ち堅實なる軌道上を運營せらるる狀況となれば滿鐵法人格は鐵道經營の本質より檢討して所要の措置を講ぜられるべき運命に置かれて居たものと考へられる

(ロ) 戰時の滿洲鐵道管理を如何にすべきやは參謀本部第三部に於ては從來より研究せられて居たことである昭和十一年戰時鐵道運用規定制定に方りては軍管理とは大本營の管理下と爲し鐵道動

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

員下令と共に滿鐵は全面的に大本營の管理下に置くことに定め、たのであるこの基礎となるものは前述せる如く國家總動員計畫に示す軍管理である大本營は總管理局を現地に置き鮮滿鐵道の管理運用に任ず總管理局の組織權限等については滿鐵で研究した一案はあつたが本格的の研究迄は進んで居なかつた

從つてこれらは法制的にみれば何等效價あるものではないが參謀本部としては戰時準備の見地より少しでも準備を促進せしめて置く必要があるので研究を進めたものであるこの件については昭和十六年關特演を契機として急速に解決せられる樣になつたそれについては後述することにする

(ハ) 大陸鐵道機關の輸送協議會

從來鮮滿鐵道機關と參謀本部とが恒例的に協議會を開催して戰時輸送につき協定して居たことを更に華北、華中各鐵道を加へ關係軍參加の上協議せんとするものである本件については既に

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

若干觸れた問題であるか參謀本部としては戰時準備上重要視したものであるので若干補足説明する

大陸の鐵道は相互一貫して作戰用運用せられる對蘇作戰に於て特に然りであるこの場合車輛、從事員等移動性あるものは綜合的に統一運用することか必要である

この見地より前項の如く大本營の鐵道管理の必要か生起するのである然し現在に在りては滿洲は既にこれに近き狀態に在り支那に於ても大体同樣である獨り朝鮮のみ軍と併立狀態に在るので相互協議も必要である然るにこれらを宛も對等視するかの如く參謀本部か鐵道機關を集め直接これと戰時準備につき協議するか如きは假令關係軍主任者か列席しありと雖も本質的に觀て變なものである作戰準備に關するものは關係軍を通じて更に强力に意思表示をすべきでありその裏付けとしては參謀本部か陸軍省を通じて國家補償の方法を講ずる責に任ずるのか筋道であ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

る朝鮮鐵道についてはこれが出來なければ參謀本部、陸軍省合議の上協定の方法を講ずればよい以上の主旨から關東軍としては輸送協議會開催は原則的に觀て贊意を表して居なかつたが從來の慣例もあり業務を短時日に進めるためには止むを得ざる方法として出席することになつた然し本協議會に引續き關東軍滿鐵間にありては新京に於て研究會を開催して具体的に戰時準備業務の内容を檢討するを例とした

輸送協議會に於ける主要議題は戰時鐵道運用規定の條項審議と戰時輸送力設定である各鐵道はこれにより車輛、從事員等の過不足とこれが運用を算定して對策を研究する陸軍省鐵道省關係者も一部出席して居た戰時準備としては年中行事の一である

(二) 戰時準備業務指導に關する關東軍、野戰の分擔

滿洲に於ける鐵道の戰時準備については關東軍司令官が全面的責任を有するがその隷下たる關東軍野戰鐵道司令部をして幾何

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

程度を分擔せしむるや、關東軍動務令にはこれが限界は示されて居ないこれらは關東軍に於て策定する年度交通計畫に基き指示する戰時準備の指示に於て滿鐵擔任業務と關東軍野鐵司令官の擔任する計畫準備、滿鐵指導の範圍、各軍司令官等の擔任事項を明示せらるるのである概して關東軍野鐵擔當範圍は既設鐵道上に於けゝ業務に止め鐵道の新設、開拓等新規事項は關東軍直接擔當部門として取扱つたこれは政策上の問題もあり防諜上の關係もあつた

茲に關東軍鐵道隊司令部設置後これに對しては戰時準備業務には關與せしめず教育訓練に專念せしむることにしたただ濱州線海拉爾以西の鐵道破壞は防諜上の必要もあり特命して計畫準備せしめた

鐵道部隊は濱州線の緊急破壞の目的に應じ得る如く滿洲里ー海拉爾間に一ケ大隊を配置し又戰時使用を顧慮して運轉教育を北

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

滿三局管内鐵道にて實施せしめた外特に處置することはなかつた

(ホ)鐵道動員計畫の策定

前述せる如く鐵道動員計畫の基本計畫は昭和十一年頃迄に一應出來上り其の後は狀況變化に應ずる修正と年度計畫の策定で滿鐵では總局内の一部門たる臨時委員會の擔當でありこれが指導は關東軍野鐵の任務であつて茲に特筆する事項はない

(ヘ)朝鮮鐵道との關聯

朝鮮鐵道に對する戰時準備業務の指導は朝鮮軍司令官の擔任で朝鮮軍司令部附將校が鮮鐵囑託としてこれが内面指導に當つて居たが同將校は一面關東軍野鐵支部長として常務を處理して居た關東軍としては鮮滿鐵道間の戰時準備のみならず常務處理をも圓滑緊密にするためこれを關東軍司令部兼務とすることを主張したが實現するに至らなかつた

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

然し戰時計畫の策定、年度予算の編成等については事前に當事者間に積極的連絡して遺漏なからしめて居た

(ト) 防空

鐵道防空が一般防空の一環として取扱はるべきものであることは申す迄もないが滿洲の鐵道が作戰的に極めて重要なる地位に在る關係上特に重視し關東軍としては軍中央部の指示や内地鐵道防空の進捗等を俟つてこれを推進するが如き悠長なることは許されず「ノモンハン」事件の教訓は一刻も猶余すべからざることを戒めたものである

これがため關東軍に於ては參謀長が陣頭に立ち凡有施策を集中して軍鐵一体の努力を以てこれを推進することになつた宛も獨乙軍の波蘭、和蘭進駐に於ける鐵道空襲の實情次第に判明し益々防空の必要を認め昭和十五年七月には關東軍情報主任、防空主任は交通主任と共に奉天鐵道總局に滿鐵幹部を集めてこれら空

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

襲實情を説明し防空の必要を強調す茲に於て滿鐵に於ても防衛本部基幹となり防衛計畫の策定、防空演習の指導等に積極的に乗出し同年九月牡丹江を中心として實施せる鐵道防空演習に於ては關東軍參謀部野鐵關係者總出動して協力指導し予期以上の成果を收め得たるも當時一般的に行はれたる防空演習の域を脱せず灯火管制、情報傳達、交通統制、防火消防等の範圍を出でず蓋し空襲及びその被害等につき軍部内に於ても確乎たる設想なく概念的狀況に出發して居たことが主原因である同年秋期白城子を中心に實施せられたる爆撃演習には滿鐵より演習模型、修理、調査班等を派遣してこれに協力したが軍の使用爆彈僅少且爆撃技術未熟で損害比較的軽微で終り却つて空襲被害大ならずとの觀念を與へた

空襲下の戰時輸送の實行性につきては戰時輸送の計畫策定上重要なる案件であるので關東軍としては何等かの方法を以て研究

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

して基準を求めんとしたが航空方面に於ても逐次資料整備せるを以て同年十二月關東軍參謀部中心となり滿鐵、野鐵當事者を以て演習員を構成し當時設想しある彼我狀況下に於て年度計畫に示す輸送を實施するものと想定して實行の能否を判定することとした期間は約一週間に亘り連日實施せる結果輸送開始後第一週目の終り頃には線路向京と下車地の混亂の爲直輸送困難にて上陸地附近には空車殆んど到着せず又上陸部隊蝟集して收拾し得ざる狀況を現出するに至つた從つてこれが結論として「戰時空襲下に於て當時計畫せるか如き大規模の集中輸送は現在の如き航空、防空狀況にては實行不可能であるので集中輸送は開戰前穩密裡に行ふか或は彼曾を利用して航空戰開始に先立ち實施するを絶對に必要とす」と云ふことになり參謀本部にも本演習の狀況を報告して考慮を求むることとなつたこれが昭和十四十五の二ヶ年間眞劍に戰時輸送につき研究した關東軍の判決で

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

あつた

その他防空に施設の改善即ち停車場施設（給水灯火管制、線路の離隔等）操車場の集中照明の排除、機關庫設備の分置その他防空情報の傳達方法、同通信網の整備、對空監視哨の配置等幾多問題あり主として滿鐵派遣將校かこれらの指導に當りその力により逐次軌道に乘らんとしたが全般的には鐵道側の熱意未だ遺はす完成は前途遼遠なるの感があつた滿鐵としては滿洲國の防空指導のため内地より招聘せられた佐竹中將を滿鐵顧託として防空の技術的指導を依頼し次第に認識を向上する樣になつた。

四以上稍〻具体的に記述したが昭和十五年度末より昭和十六年度初期にかけての滿洲に於ける鐵道及びこれに關係する交通整備は支那事變の進展に伴ふ日滿を一体とする國家總動員の實施漸く軌道に乘りて統制經濟機構の下に計畫的に業務を遂行せんとする域に入らんと

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

しつつあつたが資材面より制約せらるること漸次顯著となり而も軍事上より北滿奥地の開發要求强く經濟的重要地域と軍事的重点方面とかその場所を異にし經營上から二重に施設せざるを得ず他面對滿投資額の抑制と滿鐵營業成績等より觀てこれらを十全に滿足せしむることを得ず尙ほ滿洲事變勃發以來相次いで擴張せられたる交通施設、交通業務も前述の如き四圍全般の情勢に立ち整理と擴張との關係を調整して軍事、經濟の要求に應じ日滿支を一環する國策の要求に應ふべき重要時期に在つたものと謂へる

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四　独蘇開戦時期より大東亜戦への進展時代に於ける状況

本時代に於ける重要事項は㈠鐵道動員の實施と集中輸送、㈡戦時滿鐵管理の問題、㈢滿鐵改組である。

昭和十六年六月二十二日の独蘇開戦は青天の霹靂でありこれに關聯して滿洲に於ては所謂關特演（關東軍特別演習）の名稱の下に對蘇戦備の強化を實施せられた、これにより鐵道も一擧にその能力を増強せられ懸案事項もこれを契機として解決せられたものが多々あつた、續いて大東亜戦争に突入したが滿洲としては對北方戦備を嚴にしまた重要軍需生産に拍車を加へた以外には特に著しき變化なく戦争進展に伴ひ船舶の不足は海陸輸送狀態に直接影響し、資材勞力の不足食料の統制は次第に業務の實施を窮屈化して來たが何等業務に行詰りを生ずるが如きことはなかつた。斯くして大東亜戦争第一年目は經過したのである。この間の事情を概説すれば次の如くである。

一　關特演に伴ふ鐵道動員の實施と集中輸送

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独蘇戰勃発するや對蘇戰備の緊急強化の必要上北滿地區に對し大兵力の集中輸送を開始せられた、參謀本部は滿鐵輸送に對し鐵道動員の實施の準備を指示した關東軍としては兵力集中輸送に必要なる補足設備及びこれに引續き生起すべき作戰行動に支障なからしむるため鐵道の整備を滿鐵に命令し又既に實施しつつありし新複線の迅速建設を滿鐵に要求し鐵道部隊を使用してこれを支援した即ち鐵道動員の實質的實施である、但し鐵道管理の問題には觸るゝところはなかつた。參謀本部としては豫てよりの主張の如く滿鮮鐵道を大本營管理に移行せしむるため極々奔走し且つこの希望を現地軍より軍中央部に具申することを期待した樣子であつた

然し實際の動きはそこ迄進展することなく推移したのであるがこれを契機として戰時鐵道の軍管理の問題が始めて本式に取上げられ積年の懸案は始めて解決するに至つた、詳細は後述する

滿洲に對する集中輸送は南鮮港灣上陸に引續き鐵道輸送により南鮮經由及び北鮮經由にて集中地に向ふものであるがこれが輸送處理は

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

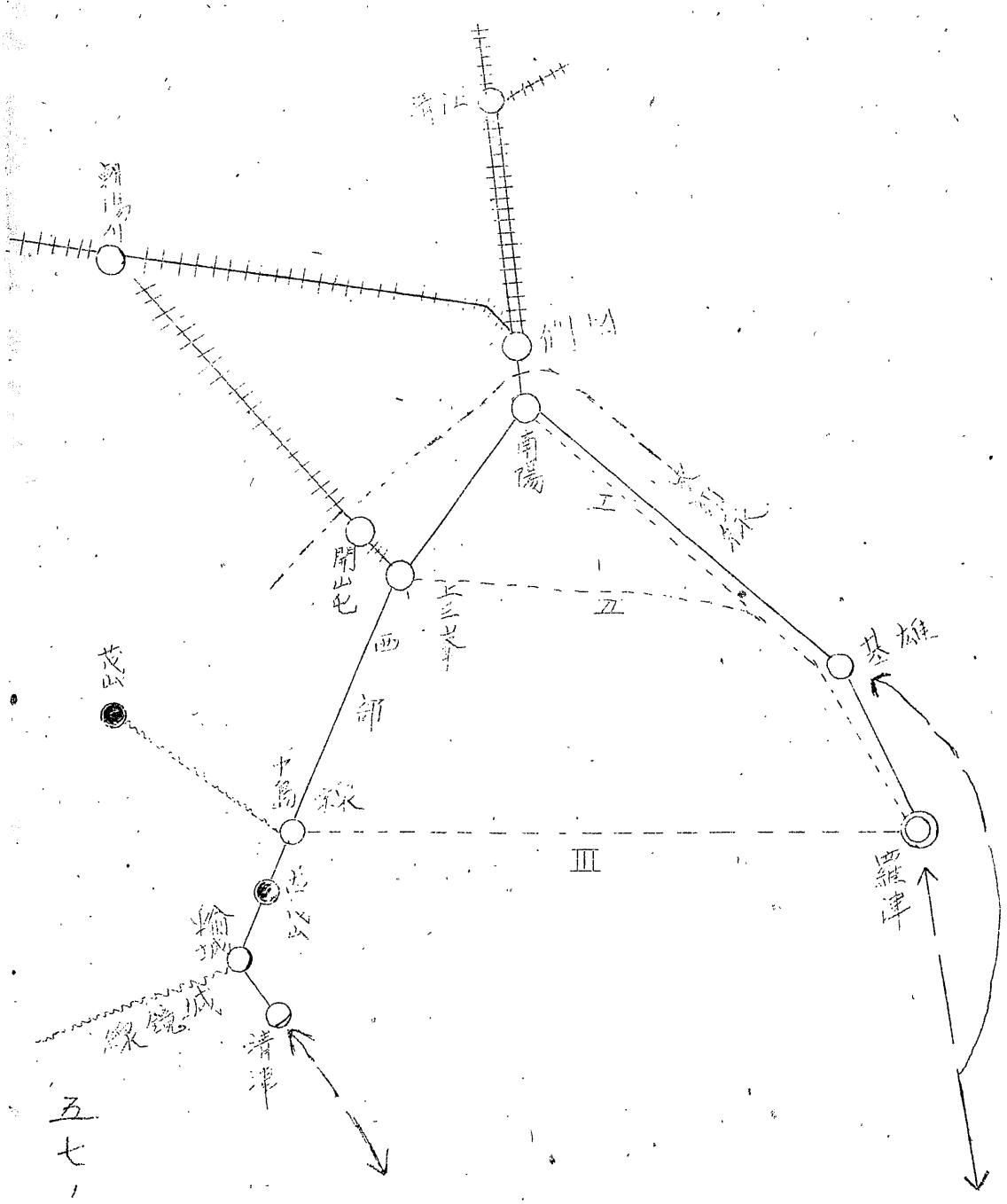
關東軍野戰鐵道司令官の担任で朝鮮内に於ける兵站業務は朝鮮軍司令官の担任であつた、關東軍司令官の隷下に入るのは滿鮮國境通過時であるこの指揮隷屬關係の轉移業務担任は支那事變以來採り來つた樣式を其の儘踏襲したに過ぎず當時朝鮮軍が關東軍と相對的立場に在りまた關東軍の作戰任務より考へても極めて實際的なものであつた。たゞ關東軍野鐵は關東軍司令官の隷下部隊であり朝鮮軍とは指揮關係がなく朝鮮軍としては兵站機關を上陸地始め鐵道沿線に配置してこれに協力するのである。朝鮮内に止る局地軍事輸送に關しては關東軍野鐵は朝鮮軍司令官の區處を受けて輸送處理に任ずることは支那事變當初の實績に照して既に實施せられて居た通りである玄に於て南鮮諸港及び羅津に於ては船舶鐵道、兵站諸機關併立の形で業務を處理するのであるが關東軍としては部隊の掌握、軍需品の受授關係はどうしても上陸地で律せなければ他に方法なし單に野鐵が鐵道輸送の計畫處理をなすため事隊軍需品の狀態を上陸地で把握

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

する丈けでは不十分である。仍つて命令下達のためには參謀を長とする連絡機關を軍需品掌握のためには兵站參謀を長とせる補給諸廠の派遣機關を上陸地に殆んど常續的に配置することになつたが補給機關は所謂南滿補給諸廠であつて陸軍省の直轄機關である、仍つてこれらを關東軍司令官の區處下に置いて右の措置を採つた。

關東軍野戰は動員完結と共に奉天に本部を移して鐵道総局と一体的活動をなす態勢をとつた。然るに關東軍司令部と離隔したため集中地の臨機變更、下東地の移動等第一線諸軍の要求に即應する輸送處理のためには可成りの無理があつた。當時は戰鬪行動を伴はない單なる軍隊の集中行動で概して計畫通りの輸送實施であるにも拘らず第一線諸軍から幾多の非難を蒙つた。軍需品の前送に至つては更に極端にて揚陸軍需品につき事前の通報なきため揚陸資材、軍需品をその到着順に從ひ大体の方面毎に迅速に搭載して前送して揚陸地の滯貨を防止したので卸下地別軍需品の内容を的確に判明せず後日徹

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp



五七ノ二

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

底的に大監査を行ひこれが實情を把握すると共に各集積地倉庫の集積替へを實施して整理するの方法を採つた

以上の樣に集中輸送や鐵道動員の實施は平素計畫準備して居た程度より遙かに複雜なるものがあり臨機對策を講じて漸く實施したがこれが後仕末には可成りの混雜があつた、幸ひに彼我開戰に至らず第一線作戰行動もなく、海上特に空中よりの輸送妨害が全然生起しなかつたので比較的容易に實施し得たのであるが若しこれが開戰下に於て行はれたら如何、洵に肌に寒汗を催す次第であるこの間に在つて滿鐵現場職員は獻身的活動は實に感歎の限りであつて集中輸送一段落せる際關東軍司令官より鄭重なる感謝狀を呈してその勞苦をねぎらひ功を賞へたのは當然のことである。これを後日本土決戰を呼號して起つた終戰前の內地鐵道の紊亂狀況と對比せば洵に格段の懸隔あり大東亞戰爭が未だ敵の本格的來攻なく空襲戰のみにより壞滅に頻せるは單に形而下の問題にあらず內地を守る國民全體の決意如

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

何と言ふ形而上の問題即ち國土防衛の心構へ如何に關するものなることを痛感する次第である。

戰時大軍の集中輸送を內地ー海上ー外地と船車連接して數千粁に亘る長距離區間に實施することの困難性は誰しも予測して種々と對策を構てて計畫準備せらしたのであるがその輸送の最大障碍となる敵側の輸送妨害を伴はざる安易なる狀況下に於て實施せられてゐた且つ右の狀態である。更に開戰下關東軍が既に作戰行動を開始して始たときは如何なる狀況を呈したであらうか、昭和十四年以來數次に亘り實施せられた關東軍の作戰兵棋に於ても後方輸送のことは余り狀況に加味せられず然し關東軍としては「ノモンハン」事件以後防空の必要を強調せられ特に昭和十五年末頃大規模に輸送研究兵棋を實施して當時の關東軍戰時輸送計畫を檢討したところ戰時空襲下に於て斯の如く鐵道の最大輸送力を發揮して長期に亘り連續的計畫輸送をなさんとすることは實行性の見込なきことを明かにした。幸ひ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

關特演に於て事前集中を實施せられたることは當時一樣に皆安堵の胸を撫で下ろしたのであつた、これを支那事變當初鮮滿經由北支に對する內地動員部隊の輸送と對比すれば關特演は格段の進歩であつたが支那事變輸送は集中地附近の輸送拘束と水害による鐵道輸送の一時杜絶と言ふ不慮の事象に遭遇したのでその際一歩を進めてそれらにつき深く內容を調査し對策を研究して置けば更に格段の進歩を來して居たものと考へられる、結局輸送妨害の對策をも合せて研究せられたのは翌十七年五月參謀本部主催の下に釜山に於て開催せられた臨時輸送研究演習に於けるものであつた本演習は主として船舶輸送に連接する輸送、防衛に關し現地軍當事者をも包含した圖上兵棋であつてこれにより上陸地附近を主体とし輸送、防衛、兵站業務の担任區分、大陸鐵道の輸送處理担任等を研究して實情に適する具体案を得ることを目的としたのである

二、關特演實施による鐵道の整備狀況

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

開特演による鐵道整備は次の三点に大別することが出來る

1. 集中輸送實施に伴ふ直接の附帯事項

2. 輸送幹線の能力增强

3. 作戰準備全般より見たる鐵道の整備

1. は鐵道動員計畫に於て關東軍對鐵指導下に滿鐵輸送委員會が詳細具体的に計畫準備しありしものにて集中輸送實施に不可缺の施設即ち北滿に對する從事員の增强、運轉、配車に對するもの、輸送途中人馬、宿營、給養に關する臨機措置、乘下車、搭載卸下に關する補足設備等である。これは遂めて齊整に實施せられ時機に投合し輸送には些の支障もなかつた。

2. は鮮滿を一貫する主要幹線即ち安奉線、京濱、濱綏線の複線工事竣工の促進、羅黑線の急速建設、東當線の施設强化等であつて京濱、濱綏線は翌十七年夏迄にこれを竣工し、安奉線は竣工時期を一年繰上げ昭和十八年迄に全線複線化を了することとなり、羅黑

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

東當線は何れも鐵道部隊支援下に昭和十六年度中に連結し得るに至つた、正に劃期的突貫工事であつたが大滿鐵の實力を遺憾なく發揮してこの成果をもたらし得たるもので過去數年間懸案であつた戰時準備をこの一ケ年間に片付けた感があつた。昭和十七年度を目標とする鐵道の整備計畫は結局調特演の實施により漸くその大半を實施し得たのである。安奉線、京濱、濱綏線の複線化により東正面に對する鐵道の作戰輸送上の要求は大体目鼻つきたるも爾他正面に對してはなほ甚だ不十分のものであつて內線作戰指導の見地より爾後如何にしてその要求を實現すべきや、特に北西に對する鐵道の整備は經濟開發上の價値少き方面に對するものであるのでその困難性は東正面に對する比でない、羅黑線の支線納金口子線や雲鵬線の如きは經濟開發的に觀れば價値極めて乏しく又濱洲線昂々溪ー牙黑線の新設の如きは更に一段と平時價値少なきを以て新の如き工事に國力を注ぎ込むことは各方面可成りの難色を

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

示したものである。研究の結果これらに對しては工事の長時日を要する部分のみの路盤工事を實施する程度に止むるの外なかつた大小興安嶺地帶を越へて大兵力を以てその外方に作戰するには鐵道によることが不可缺の問題でありこれがためには資源に乏しき地域に大規模に新線を建設することになるがこれを建設しても平時的經營の見地よりすれば企業的に極めて困難を伴ふのでこれを滿鐵に担任せしむるには自ら限度がある、第七次線として一應計畫としてはこれを決定して見たものの、この間の特別措置を考へなければ實現至難なることが明瞭になつた。關特演に於て暮黒線や濱洲線複線工事一部の實施、東富線の建設によりこの感を深うした次第であつて滿鐵内でも次第に問題化して來た、結局作戰準備上滿鐵負担限度を越へて實施するためには資金資材を軍事費軍需資材を以て支辨するか滿鐵豫算編成に方り軍部が强力なる援助をなして資金、資材の取得を容易にするか若しくは軍独自の手を以

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

て建設するの外ない。斯くの如くして仮令鐵道を建設してもこれを如何にして保守し運營して行くか、また更にこれに引續いてこれより支分する道路を整備し軍隊の駐屯、軍需品の集積補給等尚ほ進んでは教育衛生等廣範なる施設や準備を必要するがこれらが整つて始めて骨や肉、皮が揃ひ活動し得る組織体となるのである北、及西正面に對する本格的作戦準備は立地條件より觀て前途に幾多の困難横はりありこれを打開するには劃期的努力と非常處置とを要するものである。軍中央部としても關東軍としてもこれらに、つき將來を見越して綜合計畫を樹て國力と睨み合せて緊急順序を勘案した實施計畫を策定し時期を劃してこれを進めることが作戦準備の行き方であつて單に兵力の增加、その派遣時期、駐屯地等を机上で決定しても作戦は出來ない。此の間の事情は北正面に對し第四軍、西正面に對し第六軍が作戦準備に專念する樣になり關特演を契機として稍く判然し來りたるも全般的の動きから觀れば

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

皆無の一動にもならぬ程度であつた。鐵道線を地圖上に描いて作戰が出來る様な錯覺は仲くとれぬ、鐵道の新線計畫を實行に移すためには前記綜合計畫の全貌を明瞭に把握することが必要であるこれなくして如何に軍が鐵道を先行的に建設せしめんとしても最早西國の狀況が動かぬのである。然るところ直接その衝に當るべき關東軍司令部内に於てすら作戰も兵站もそこ迚の見透しをつけることが出來ず結局は鐵道主任者に於てこれを推定して進める外なかつた。

3. は作戰指導上の見地全般より見たる鐵道能力の整備であつて第一線の作戰推移の予想に應ずるものと兵站關係の要求に應ずるもの並に防衛一般に應ずるものの三者に對する準備である。

第一線の作戰に直結するものには集中地附近に於ける鐵道及びこれに附帶する能力の整備、鐵道の占領開拓又は破壞撤去、遮斷等であつて即ち

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

下車地、卸下集積地附近の諸準備

鐵道に隣接する輕便鐵道又は道路の整備

特設鐵道隊、特設自動車隊の編成準備

荷役力及び小運送力の前線への抽出派遣に伴ひ鐵道沿線に對するこれが整備補充

鐵道の改軌、車輛の改軌並に貨車車輛の保守取扱、鐵道の渡河準備

防支正面に於ける既設線の撤去又は破壞準備

住民の後送及び給養に關する事項

後方補給に關する事項は滿洲内に於て調達補給し得る程度を明かにして的確なる補給計畫を樹てこれを輸送するためには兵力、運送軍需品等との緊急順序を定め方面別に區分して鐵道輸送能力に適應せしむることが必要であるもまた難者を後方地區に輸送するため實施可能なる難者收容計畫に基づき難をおく必要あり南滿地區や朝鮮に於て難者を收容する方面はその收容能力を調査して更に研究する必要がある又軍事輸送に鐵道輸送力の大部を使用するため

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

にはこれと総動員関係物資の輸送、一般民需輸送、交通連絡のための旅客輸送との配分を如何にすべきや、滿洲に期待す軍需生産の程度は軍中央部として幾何程度と見込みありや等本問題に対する準備事項は枚挙に遑なき程山積せられて居るが何れを取扱ひても容易に解決し得ない事項計りである、しかし作戦準備は斯くの如き複雑且不明瞭なる因子に立脚する問題を基礎に研究解決することにより始めて計畫的作戦指導をなし得る素地を築くものであり此の務を怠ることは結局泥縄式作戦指導に終始することである「ノモンハン」事件、支那事変が雄弁にこれを證明して居るではないか、今や滿洲に大兵力を集中せられ一朝即発の態勢に置かれあるも單に兵力を集めたるのみにしてこれに伴ふ形而下の現地作戦準備は右の如く極めて不備の状態であつた、幸ひにして諸般の状況は交戦状態に至らずして推移して行つたが鐵道運用の見地に立脚して滿洲の戦備の内容を観察すれば余りにも不備缺陥多く極

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

めて皮相的のものであつたことが窺はれる

滿洲が國防國家として誕生し育成せられつゝありて尚且右の如き狀態である。自由主義經濟の下に發達して來た日本内地や朝鮮などが大東亞戰の末期になつて急に戰場化せらるることを豫想して決戰準備態勢を採らんとするも到底不可能に近きは當然のことと謂はねばならぬ。

三、戰時滿洲鐵道に對する軍管理問題の解決

戰時鮮滿鐵道に對する軍管理については參謀本部に於て豫てよりこれを主張し戰時計畫の基本事項として取入れて凡てを律する樣にしてゐたことは既述した通りである。滿鮮に於て參謀本部指揮の下に策定せられてあつた當時の鐵道動員計畫はこの鐵道の軍管理下に於て實施せられることが前提條件である。即ち昭和十一年參謀本部が滿鐵、朝鮮鐵道と協議決定した「戰時鮮滿鐵道運用規定」に於て大本營管理を明瞭に規定しこれを同地に同書に於て鐵道動員に關して

六 三

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

具体的事項を規定して居る。この大本營管理と定めたるは國家総動員基本計畫要綱（資源局策定閣議決定）に「戦時鮮滿鐵道は軍これを管理す」なる條項に基づき軍とは戦時鐵道全般を運用する大本營なりとの參謀本部の解釈に因つたものである。運用規定では鐵道動員實施と共に鮮滿鐵道の管理運用のため鮮滿鐵道総管理局を奉天に設置する筈であつた

註　支那事變勃發後支那鐵道をもこれに加へまた総管理局設置に替へこれ代はるべき「管理機關を設けることとし具体的成案を得てこれを決定することに昭和十五年改訂せられた。」

參謀本部としては滿鐵、朝鮮鐵道局の業務を全面的に軍管理下に移さんとする原案であり滿鐵當事者もこの意見を支持して居た模様であつたが然し滿鐵は鐵道部門以外に廣範囲に亘る事業を綜合經營しある企業會社でありこれを全面的に軍管理におきこれら全部を經營運用する機關を戦時特設することとせばその機構は莫大なるもので

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ありまた大本營が作戰に全力を傾注すべき際これが監督指導に大なる力を割くことは實際問題として不可能に近く勢ひ自主的監督なる名義の下に放任するの外なかるべしとの意見も生ずるわけである。のみならず關東軍は既に滿洲國國有鐵道の管理權を有しこれが經營者たる滿鐵を監督しあり社線に對しても軍事上の指示權を有し軍司令官は駐滿大使として關東局を通じ社線に對する現地監督に任じて居る朝鮮鐵道は大正十四年滿鐵委託經營を止めて朝鮮總督府の經營に移す際「軍事上の要求に對しては支障を來さざる樣考慮する」諒解あり、今更斯くの如く參謀本部がこれを直轄して必要以外の附帶經營に迄乘り出し事業經營に手を出す必要はない。作戰上の要求を明示してその目的を貫徹する如く飽く迄「要求一点張」で行くべきであるとの意見が強くなつて來た。軍としては鐵道管理は未だ斯くの如き研究時代の域を脱せず而もこれが主張は參謀本部第三部に在り從つて單に鐵道輸送力の運用を主とし且參謀本部の担當する集中

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

輸送の實施に重点をおかれて居たので、企業會社たる滿鐵そのものの仕事を管理機關に移す場合の手續き、從事員の身分取扱、損害や停業補償、滿鐵豫算と單獨費豫算との轉換等軍政的事項の研究の範圍には一歩も出て居ない狀態にある。滿鐵としても輸送委員會担當者に於てこれを研究して居る程度で全般的には何等考慮を拂はれて居なかつた。然るに關特演となり大規模の集中輸送開始せられ鐵道は實質的に鐵道動員を實施しなければならない狀況となつた關東軍としても引續き作戰行動に支障を來さない樣に輸送幹線の增強を急ぐ必要ありこれを滿鐵に要求した、滿鐵としては鐵道動員實施と見做しこれら一切は軍命令に發動したものであり當然軍の手により凡てを放拾せらるるものと思惟し第一線鐵道の使命を恥しめざる樣勇躍奮鬪その負托に副つたことは前記の如くであるが期待せる大本營管理の命令は發動せられず時日の經過と共に危惧の念を惹起するに至つた。關東軍としては參謀本部當事者より現地軍より滿鐵全面管

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

理希望意見具申方要望ありしも前述せし如くその必要性やこれに伴ふ業務の複雑性、準備の程度等諸般の事情を考慮するときは幾多研究を要する問題あり簡單にこれを主張すべき狀態のものでないので敢えてこれを具申することなく軍事上の要求を貫徹するため滿洲線道に對し軍中央部の強力なる支援方要望した特に軍命令により實施した鐵道の整備、大規模な軍事輸送實施に伴ふ滿鐵に對する補償を十分ならしめて後害を殘さざる様万全の配慮ありたき旨具申した

即ち七月下旬以降滿鮮鐵道全般は戦時ダイヤに移行し豫て規定せられた集中輸送態勢に移り平時的經營の觀念を一掃して軍事輸送に主力を傾注し必要なる補足設備をなすと共に突貫工事により幹線強の緊急處置を講じたのでこれらに對し國家として特別補償の措置を講ずるにあらざれば滿鐵はその經營に行窮りを生ずるのである。滿鐵としてはこれが補償を軍事輸送料金三倍支拂により一切を清算せらるることを希望して居たが軍中央部に於ては研究の結果戦時ダイ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヤ移行時より十月末迄の期間軍事輸送料金を借額支拂ひとして軍事輸送費施に伴ふ爾他運賃減收を補償するの外補助設備、緊急工事に對しては夫々軍事費を以てこれを支辨し滿鐵財産に繰入れる性質のものは後日日本政府の滿鐵投資に繰替へする方法をとり補償問題を解決することにせられた。茲に於て關東軍としては滿鐵をして實施せしめたる鐵道動員の前後處理のためこれが指導を担當したる關東軍野戰鐵道司令官をして實績を檢討して單に一時的使用として施設したもので用濟廢棄とするもの（例へば停車場に於ける給養設備、便所の仮施設、乘降の補備施設の如き）、滿鐵財産に編入すべきもの（例へば線路の運絡、乘降、乘替場及び取付道路、停車場司令部等諸室の補備施設、車輛改軌設備の如き）等に區分し夫等實地調査して豫算に照して監査し具体案を策定せしむることとせられたが元來鐵道動員計畫は鐵道運用的見地より策定しこれを實施する場合にも野戰鐵は使用的見地より指導したので斯くの如き軍政的考慮に於て

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

かされたのではなくて更にこれを徹底的に視て區分判定しまた清算を事業支拂とに別別することには頗る苦慮したのであるが事司令部より交通隊官吏員をも派遣してこれを援助して見る角度任のもてゐ筆を調査決定したが相當大がりの仕事であつた所謂調査計畫の引上げ實施等は夫れ自体が平時より遂行的に算が陸軍して居る事項であるのでこれを如何に解決するかの問題はあつたが中央部より指令せられた枠内で與へられた期日迄に出來た。算計係選に關する支入相違は見に過度の負担をカバーするのみに止まらず廣範囲に亘る從事員の出張旅費、事務の浪費、材料小道具力の保管費等多く問題項を調査して今日判定するのが長がかるのかこれは容易のことではなくまた問題は長時日を要するものであつた。二月末三月初旬に止るので清算の三條件に對、しまとしては十月末日迄の期間につき二條を支拂ふことにした。しまは遂の大達は七月下旬より九月上旬を以て大体終了したが戦時ダイヤを使用していた期間から十月末迄としたので

六六

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ある。新規線の繰上げ等の緊急工事は昭和社線、京濱線の複線工事費、羅線、東海線の工事費を上げ、これに関聯する設長工事費をとし年度始め豫算を上まつた部分を繰延べすることとした安奉線の複線工事費は年度の繰上げ、朝鮮線の工事費に伴ふ工事費は凡て新規建設費の範圍内で處理することにした

以上の如くして當時に對する國鐵間題は處理することが出來たが鐵道の經營問題は大本營當事者の主唱せる如く實現するに至らず鐵道經營者としても滿鐵を始め滿鐵、支那鐵道共に數ての參謀本部との協定に反し中南半島なる滿洲となつたので一樣に疑惧の念を抱いたのは當然であるが而して時局は刻々緊迫の度を加へたるも北方は滿を持して動かず遂に同年十二月米英との開戰となり大陸にありては依然國鐵を國營にして國鐵の進展を見守ることとなつたが對蘇軍戰に備ずる鐵道管理を早急に解決してその準備を整へておかなければ開戰後に於けるが如きゴタ〳〵を再び繰返すこととなるので大本

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

管としては昭和十七年初頭滿鐵、滿鐵、華北、華中各鐵道首脳者と懇談してこれが解決の機會をつくることにした。本懇談には陸軍省陸部及び關係現地軍當事者も參加することになつた。即ち本問題は基本國策事項であり軍としては軍政的に取扱はるべき性質のものであるこれを戦時準備の見地より參謀本部が陸軍省と深く協議することとなく一方的に大陸鐵道機構と勘定して大本營管理の想定の下に運用計畫を策定したことに不備があつたこれがため前記の如く軍政的運営事項につき殆んど計畫せられて居なかつたところに今回の混乱の大部分があゐ鐵道動員を實行に移した後に於てその根本となるべき軍管理の問題を解決しやうとするから凡ての手續きが前後錯綜して混雜を生ずゐのである。この機會に於てこの問題を根本的に解決することが戦時準備を完璧ならしむゐため緊急事項である各鐵道は懇談（滿鐵は副総裁、朝鮮は運局長）、各軍は參謀長（關東軍は參謀副長）出席し陸軍省は關係局長立會の下に參謀本部主催して戦

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

日満に亘り懇談したる結果鉄道の戦時軍管理の方針につき具体的意見一致をみこれに引続き省部間にて研究してこれに関する勅令公布を見るに至つた。功名に於ては戦時軍管理の責任者は陸軍大臣であり陸軍大臣は参謀総長に軍事事務を委任し得る規定である。軍管理は満鮮の場合は別に勅令を以て發令せられることとなる（朝鮮及び支那鉄道についても夫々特定事項を設けて本問題は解決せられた）

右の如き経緯を以て満鮮の鉄道の軍管理問題も漸く解決したのであるがこれも支那事変、大東亜戦争と西国の情勢の進移に負ふところ多く参謀本部が敢えて上述の如き実則的なる戦時準備計画の方法を採れることは相當理由のあることで軍に結果のみを見て責わることは出来ない。国營、民營を問はず鉄道は国家的投資事業の大なるものであつて平時これを企業的に運營して国策的要求を充足せんとするものであり戦時はこれを作戦的に利用して用兵上の要求を貫徹せんとするものである。從つて作戦上の見地より平時機能たる鉄道の

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

利用を計畫準備するには各般に亘つて種々制扼を受け特に經營の根本に觸れる樣な問題となれば軍部内に於ても種々議論を生じ容易に解決するものでない。然し戰時運用上の責任者であり戰時計畫策定の主當者たる參謀本部は未解決に結口して計畫準備を放棄するわけには行かぬ軍自体の豫算、資材を以てする事項例へば軍の編成裝備教育訓練、軍機關を基幹とする情報業務等に比すれば鐵道の如きは全く他力本願的の戰時準備業務である然しこれが實績の良否は直ちに作戰實施の大局を支配するのでこの間に立ち苦心努力の結果我上の經過を辿つたものと思考せられるのである。

軍管理問題の解決以上の如くであつたが大東亞戰爭の推移するところ遂に終戰直前迄滿洲は平靜を維持し得て軍管理の發動を見なかつたことは幸か不幸か、戰火は一挙にして太平樂をきめて居た日本内地に飛び移つて鐵道義勇戰鬪隊を編成して參謀総長の隷下に置くところ迄推し進められた。運命は實に皮肉なものである。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

管理に關する具体的計畫準備については別に記述する

四、關特演以後の鐵道輸送

關特演による鐵道輸送は滿鮮を通じ完全に戰時輸送の形体に轉移したのであるが北滿に對する集中輸送は昭和十六年九月を以て一段落したのでその後は逐次軍事輸送以外にその輸送力を振向ける樣にすると共に戰時「ダイヤ」を平時ダイヤに漸次に轉向する如くしたのである。又これと共に計畫、實施兩面を通じ輸送統制を強化して軍事、經濟其の他万般に亘り輸送面を通じて現況を把握して監督指導を的確にせんとする域に進めることが出來た。支那事變勃發以來數年間に亘り終始統制輸送に努力した鐵道關係當事者の努力は滿鐵は國より軍、官、民各層の理解と協力を求め漸く茲に結實するに至つたのである。次に若干その經過を述べることにする。

イ、ダイヤの編成要領

從來から平時ダイヤと戰時ダイヤとは全然別個のものを採用する

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

方針で進んで居た即ち戦時輸送は先づ集中輸送を主とする車事輸送であるので貨物列車の速度を基準とした並行ダイヤを使用し給養驛又は大量の乗下車地点を連接するものであるこれは概念的には一應首肯出來ることであるがこれは戦時輸送の内容及び平戦兩ダイヤ相互轉移の技術的方法につき研究するとき幾多の難点がある。一概に集中輸送と稱するもその輸送量は當時の狀況によりて變化し又波動があるので平時參謀本部で計畫する樣な集中輸送がそのまま實行に移されることは常に期待することは出來ない。又小時の狀況の變化に對應するためには事前輸送も實施せられる可能性も多く特に空襲下の輸送混亂を避けるためには成るべくこの方法が要望せられる然るときは何時如何なる要領で戦時ダイヤに轉移するかその判斷は極めてむつかしい。又平時ダイヤを使用して輸送力の最大能力を發揮して輸送して居る狀況下に於て輸送力の利用率から見れば極めて不經濟な戦時ダイヤは努めて使用を避

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

くべきである。

以上のことは支那事變勃發前から一部には論議せられたこともあつたが當時參謀本部、鐵道省間當事者にて毎年開催せられた戰時輸送計畫案定協同作業（通稱「強羅會議」）が元來軍事輸送計畫策定演習なる趣旨に發足したもので一枚の輸送計畫表を如何にして調製するかと言ふ技術的作業につき鐵道關係者をして研究訓練しておく程度のものであつたので斯くの如き根本的の問題に對する關心は極めて薄くその證據には支那事變勃發に先ち同年四月福島縣飯坂鐵道會議所で開催せられた昭和十二年度戰時輸送計畫策定作業の報告會議席上參謀本部主任課長加藤大佐が本計畫の實行性につき鐵道當事者に質問したるところ「實行の確心は持てぬ」と言ふのが結論であつた。果して支那事變が勃發するやその初動は凡て計畫したものよりも輕微なる輸送であり前途の推移につき見透しもつかないので實行を担當する鐵道省當事者の心配は亜大

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

低ではない。急遽各鐵道局ダイヤ關係者を東京に招集して東海道線、山陽線車臨二千本、その他これに準ずる「ダイヤを挿入した平時ダイヤを作製した。次いで車臨三千本、四千本に達するものを準備した（實際に使用したのは東海道線最高三千三本であつた と記憶する）このダイヤ編成は當時使用して居た平時ダイヤから急行列車、旅客貨物と列車收消しの順位をつけ車用列車の增加に伴ひ逐次これを收消して車臨を設定する。その最大限を上述の如く二千本、三千本と設定せんとするものである。車臨が減少すれば一般列車が平時ダイヤにより復活することは當然である。この苦しき經驗から昭和十三年度以降鐵道省の戰時ダイヤ策定方針は一變し平時ダイヤはこれを隨時必要に應じ戰時ダイヤに移行し得ることを條件として設定する即ち平時ダイヤ抹消の順位を豫定しこれに代る車臨ダイヤ幾本かを設定するのである。

以上の方法は滿鮮の鐵道に於ても當然採用せらるべきであるので

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

種々論議はあつたが車輌富士者研究の結果昭和十六年度よりこれを採用することになつた。開戦演に於てはこの準備計畫の上に立ちて集中輸送が實施せられたので戦時ダイヤを採用しても軍事輸送の緩急増減に應じ能くこれを軍事輸送以前の鐵道輸送と薄奥融通出來既述の如く滿鐵の直當せる輸送に關する限り極めて有效的確に實施せられ而かも輸送能率を最高度に發揮することが出來たのである。

2 集中輸送

集中輸送についてはその概要を既述したので茲には輸送處理の方面につき具体的に記述する

元來日本内地に於て編成せられた部隊や軍需品を内地港湾より船舶輸送し更にこれを上陸地（陸揚地）経由長距離鐵道輸送により所望の地点に計畫的に到着させる集中輸送は仲々容易なることではないと言ふことは以前より世界各國の定論であつた然し日本

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

が北滿に謙德戰場を選ぶ以上はこの困難なる輸送を敢行しなければならぬ。而も乘船上陸地兵人馬宿營給養、軍需品の集積に對する余裕を余り有しない北九州や南鮮諸港を利用する輸送体系を選用するに於て益くむつかしくなる關特演はこの輸送体系による輸送であつた。輸送處理、輸送實施の担任區分は滿洲事變以來恒例的に執り來れるものをそのまま踏襲（滿鮮一貫のものは關東軍司令官の命ずるところにより又朝鮮内のみに終始する輸送は朝鮮軍司令官により何れも關東軍鐵司令官が輸送を處理し輸送實施は夫々鮮鐵、滿鐵の担任、被輸送部隊の指揮隷屬の轉移は滿鮮國境通過時期、軍需品は最終卸下地に於て交付）、部隊の派遣及び輸送は大本營の指示により軍需品は兵站總監の指示により前送交付せられるが部隊の輸送順序、輸送時期を示す輸送概見表は集中輸送の基準を示すことには變りないが輸送處理担人者に於て狀況に應じ臨機變更を認めて居る即ち船舶輸送處理者に於て若干の變更あり上陸後の鐵道輸送は特別

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

の事情なき限り部隊の上陸に伴ひ滯留部隊を生ぜざる如く逐次前送するのである。而して上陸部隊の南鮮諸港上陸の時期及びその搭載區分が適時輸送處理担任者たる關東軍野戰司令官（奉天にあり）又は部隊の使用責任者たる關東軍司令官（新京にあり）に連絡せられることは望み得ないことが多く止むを得ず釜山に有力なる連絡機關を配置して臨機處理することとしたが僥倖にも單に集中のみで作戰行動を伴はなかつたので特別の輸送混亂を生ずることなく終始した軍需品南滿補給廠分派機關を南鮮及び北鮮揚陸港並に大連に配置して揚陸軍需品を逐次前送する手續をとらしめたが關東軍としては受領を的確にするためには一應軍需品を揚陸港にて掌握することが最も望ましいことであるので此等南滿補給廠を關東軍司令官の區處下に置きその業務を實施せしめた然しその衝に當れる機關は概ねて微力であり滿洲における到着地の狀況や作戰上の緩急安度等についての智識は皆無に近く送票の示すところにより機械的に處理したに過

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ざない更に送票を發行する中央補給機關にありても現地の實情と遊離したる机上計畫により前送を計畫指定せるものも少くない。依つて以て軍需品の前送集積はこれが實施の衝に立てる當事者の努力に拘らず實情に適せずして後日これが現況調査と集積替えを大規模に實行するの止むを得なかつたのである。船直連接点に於ける輸送の拘束を避け圓滑有益に集中地に送り込むこと即ち單なる輸送の技術的實行は極めて順調に實施せられたのであるがその反面これを作戦的運用の見地より觀れば送處理上多の改善余地がある悖ひにして作戦行動や航空機、潜水艦を以てする敵の輸送妨害を伴はずその缺陥が直接作戦面にあらはれることなしに濟んだのであるが輸送處理上の缺点は徹底的に改善する必要がある昭和十七年九月參謀本部が主催してこの對策研究の機會をつくつたのは當然である然しこの研究演習は船舶輸送とこれに連接する南鮮揚陸地に於ける業務處理を主体とせるのであつて關東軍の

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

担任する作戦の動きを十分考慮に入れた輸送業務處理方策の研究迄には進み得なかつたのは至極殘念であつた。原則的に言へば集中輸送は大本營の担任とするのが普通であるが對北方作戦の實施は大本營は大綱を把握しあるのみにて一切は關東軍に担任せしめある當時の狀況にては作戦指導の要求に即應する如く人馬車需品を集中地迄への調送を大本營が担任することには無理がある。滿洲内の作戦が内線作戦であるので特に然りとする。仍つて本研究演習の結論では上陸地以遠の輸送處理を關東軍司令官の担任とし軍隊、軍需品共揚陸と共に關東軍司令官に配屬するを至當とすることになつたことは前述せる通りである。

關特演に於て關東軍野鐵はその初頭より奉天鐵道総局建物内に專多し鐵道と一体的活動をなした。關東軍司令部は依然新京に位置したので兩者間の連絡は充分とは言へなかつた又野鐵は輸送計畫の作製及び發地處理を野鐵諜出支部に担任せしめたので揚陸地に

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

於ける計畫處理も十分とは申せなかつた關特演輸送は作戦行動下の輸送ではない

最も惠まれたる條件下に於ける輸送であるにも拘らずこの狀態である。野鐵司令官としては本責濟に徹し野鐵本部は將來關東軍司令部と同位置にありて輸送處理に任ずるを絶對必要とし総局輸送機關を關東軍司令部位置に招致すべきであるとの對策意見を具申せられた。關東軍司令部としても至當の意見なりと思惟し滿鐵本社の新京移轉問題を取上げて研究を進めることになつた

又南鮮に於ける輸送拘束を避ける同地港灣揚搭能力の增強一泊地繫船、荷役、集積、小運送一、集積地及び倉庫能力の強化、軍需品の集積、積込能力の增大、軍需收容能力の增加は緊急の問題として取上げられた然し南鮮港灣の營埠運營は內地の延長であつて利權錯綜しありてこれが解決には幾多の難問題あり差當り港灣と鐵道の營埠又は運營を一途の方針の下に統制することが急務であ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

る。参謀本部としては從來より朝鮮總督府に呼びかけ本問題について種々工作し來れるも更に一段とこれを促進するの必要がある現に實施しつつある釜山、馬山、三千浦、鎮水の港灣工事、釜山釜山鎮、三浪津、昌原、鎮海、馬山等の鐵道工事も極力推進せしむることが必要である。本案件は昭和十七年下期に至り大陸物資の朝鮮經由運輸輸送實施の必要上更に拍車を加へらるるに至つた。軍部としては關東軍が戰時大連に海陸連絡、兵站、通信係を分派機關を設けて現地業務を一括處理せんとしたる趣旨をそのまま南鮮に採用し大本營、關東軍、朝鮮軍及び船舶輸送を包含する現地業務處理係官機關を置き又內鮮間の有線電話回線の一部を輸送處理專用として宇品、釜山間を直通せしむることにつき對策を進めた。向ほ大本營の主唱により車輛及び從事員の彼此運用については大陸輸送協議會を組織して鐵道機關相互協議して係官運用せんとする議起り陸運輸輸送により本要請は急速に實現すること

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ととなり昭和十八年初より奉天に常置せられた。その内容は朝鮮鐵道局、滿鐵、華北交通より派遣せられる委員を以て構成せられ關係事主任者も指導の立場よりこれに加はることとなつた。

3. 輸送統制の強化

關特演は鐵道輸送力を軍事輸送の實施に集中したのであるがその開始より集中の一應完了迄の約二ケ月半に亘る期間の軍事輸送量は総輸送量の約五割程度であつた戦時輸送の計畫で軍事輸送に全輸送力の八五%迄使用する考案に對し遙かに下廻つて居る。これは作戦下の戦時輸送にあらず且万事好調に實施せられたので右の實績となつたものである然し兵力集中後の軍事輸送量は貨物総輸送量の三割以上になつた。即ち從來は月平均軍貨一〇〇万屯乃至一二〇万屯程度の輸送であつたものが一躍して一六〇万屯を上下する様になつた一方滿洲に於ける生産力の擴充は著くこれを高調せられ鐵道輸送力の増強のためには滿鐵社用品一等に砂利、枕木

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

運輸用石炭一の輸送量は次第に増加する。軍事輸送、総動員物資の輸送と滿鐵社用品の輸送で総輸送量八〇乃至九〇%を占める滿洲内の鐵道輸送狀況にては輸送統制を強化して限られた車輛と施設を利用して輸送能率を最大限に發揮せしむることが第一に講ぜらるべき対策である。從來軍事輸送は優先輸送として取扱ひ特別に不都合なる場合以外は概ねその請求を充足する如く取計らひ來れるも輸送の認識不充分なる動員部隊大量入滿したこれに伴ひ軍事輸送量飛躍的大化せる現況に在りては優先輸送の名を藉りてその請求を容認すべきものにあらず総力戦的見地よりその内容につき嚴密なる査定を加へその實行につき強力なる監督指導を加へることが緊要となつた茲に於て毎月二十日過ぎ滿鐵軍司令部に於て開催する月間輸送計畫策定打合會議には現地軍主任參謀並に補給廠主任將校は必ず出席してその査定資料を提供して作戦準備實行を適切ならしむることとし又過去の實績を報告して參考資料とし

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

た。野戦の輸送處理も從來の如く各支部一任の範圍を再檢討し軍貨の積卸搬送についても十分檢討を加へ滿鐵をして荷役、小運送能力運用に的確なる資料を與へその能力以上に出づるものについては輸送計畫策定に方りて請求を變更せしむるか軍隊に要求して目隊積卸運搬の處置を講ぜしむることとし各隊の輸送拘束を避け貨車滯留時間の節減に努めしめ以て軍事輸送以外の輸送に對し率先範を示す域に到らしむることを目標としたその結果半歲ならずしてその面目を一新し軍貨の逆輸送、二重輸送は殆んど是正せられ驛に於ける積卸小運搬業務は著しく改善せられた。軍貨の增加の內容は兵力量增大に伴ふ常積補給量の自然增加の外兵舍、倉庫等の建築、飛行場新改築に要する建築材料、砂利、セメント類の大量增加、補給廠に對する大量作戰集積等が主要なるもので到るところ鐵道引込線の要求あり關東軍としては引込線の新設はその建設資材（枕木及び軌條）に制約せられ緩急順序を附し滿鐵委託

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

工事として逐次設置せしめ輸送力發揮に寄與せしむることとしたが一ケ年の工事延長は一〇〇粁内外であつた。石の如く單事輸送能率向上のためには滿鐵單目ら凡有手段を講じたが平均輸送距離は三〇〇粁を越へ貨物輸送中の最高距離を占むるものとなつた。滿鐵はその營業的見地より單貨運賃の値上げを要求したが單事輸送運賃の改訂は滿鐵のみを對象とする能はざる性質のものなるを以て、早急に實現し得ず應急措置としては旅客運賃の値上げにより十八年度豫算編成上の收支均衡を得ることとした

鶴待演に於ける鐵道緊急整備要求に伴ひ滿鐵社用品の輸送量增大亦著しきものあり鐵道の新改築用材料就中砂利、木材に於て然り而して月額一〇〇万屯以上に上る滿鐵社用品は滿鐵直營部門個々の請求により輸送せられつつありし從來の慣習はその内容要度等につき綜合檢討を加ふることなく又これを綜合する社内部門もなく所謂慣れ合ひ輸送の盛當時に至れるを以て社内一般に統制輸送

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

に關する認識は極めて不良であるこの弊を打開することが緊要となつた。仍つて軍事輸送處理に對し採れると同樣滿鐵社用品についてその請求を取纏め綜合的に檢討して要度を判定して輸送計畫策定に資しなほ實績を明かならしむる如く滿鐵をして處置せしめた鐵道運輸を使用として居る滿鐵が斯くの如き狀態であることは一般的に考へれば不思議の樣だがこれが一般の眞相である

大東亞戰爭に入り滿洲に課せられた重要使命の一は生産力擴充による戰爭協力である從つて重要物資即ち總動員物資の輸送は使命遂行上當然必要である。限られたる鐵道輸送力を活用してこれが輸送を完遂するには各方面の眞劍なる協力を要する滿洲國政府は官民協同の輸送統制委員會を設けて自らこれに當ることを提議した然し鐵道は關東軍司令官管理の下に滿鐵をして經營せしめられありこれが採外にある滿洲國政府の意思を以てなし得べきではない然し輸送の本質より觀てこれが全面的協力を要する。茲に於て

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

如何なる方策を講ずべきや從來の輸送統制の遺方は更に改善飛躍せしむべきであるに伴つて月間輸送計畫策定時期を利用し滿洲國關係當局者、主要特殊會社當事者を關東軍司令部に招致して輸送懇談會を開き一車、鐵道關係主任者は當然これに出席する一輸送實績につき事情の説明を求むると共に阻害する條件の排除方策を研究し且つ輸送請求の内容を説明せしめて計畫策定の參考資料とした。なほ關東軍野戰をして本來の任務遂行を阻害せざる範圍に於て総動員物資輸送の實情を調査して報告せしむることとした又野戰司令官としては實行的見地よりすること、が輸送打開策をその都度關東軍司令官に意見具申せらるるところがあつた。以上の處理を講ずることにより各方面輸送に對する認識更に引上し統制輸送に對する關心越る大となり各方面責任者進んで輸送懇談會に出席して實情を把握するに努め滿洲國政策實行の見況を識り生産力擴充施策の進行度を係數を以て的確に把握するを得るに至つた。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

斯くの如くして鐵道の統制輸送は昭和十三年九月發足してより三年有余當事者の絶えざる努力により始めて結實し鐵道輸送方面が率先して政策指導、作戰準備を推進する域に到達した鐵道が事事政治、經濟等の施策實行の唯一の動脈である滿洲の立地的條件と滿鐵の一元經營、滿洲國の成立と統制經濟方式の採用、關東軍司令官の滿洲國指導と滿鐵監督權の併有等の諸條件相俟つてこの成果をもたらし得たものと考へられる。

註一　輸送の統制運用は有ゆる諸元を綜合運用し得るにあらざれば不可能である。軍事輸送は作戰の機密に屬するのでこれに携はるものの以外は關與し得ない而もこれは優先輸送を必要とし臨機突發的のものがある。軍事輸送を除外して計畫輸送を實施せんとするもこれに妨害せらるるので結局軍事輸送を包含する輸送全般の統制を行ひその效果を徹底的に發揮することが出來る北支

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

に於ては軍官民を網羅し尨大なる人員を以て輸送統制委員會を構成して統制に任じた。滿東軍に於ては參謀部の少數人員と野戰の滿係參謀、滿東局主任係長及び滿鐵輸送管事者を以てする數名の人員を以て主事せしめて、これをなし得たことは前述の如く好條件によることと滿洲の鐵道輸送は對蘇戰備と表裏一体であり高度にその内容を秘匿すべき要求に迫られて居たことによるこの間に任りて滿鐵配車係長山口外二が滿東軍司令部の一員としてその全能力を傾注してこれが完遂に當れる努力を看過してはならぬ河氏はこの種輸送に關し鐵道の第一人者でありその心血を注いだ成果が結實したとも言へる

註二

滿東軍野戰は軍事輸送の處理がその任務である。滿東軍命令により又は滿東軍輸送處理規定の定むるところに據り處理するのである。恒例的に處理する範圍のものは月間輸送計畫の示すと

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ころによる。月間輸送計畫策定に方りては野鐵主任參謀はこれに參畫して全般の輸送狀況を把握するこれにより野鐵として担任する軍事輸送處理に支障なからしむる方法を採つて居た。然し北支に於ては野鐵が軍事輸送以外の輸送全般の統制にも携はつて居た樣である。輸送は軍事の外產業經濟民生と廣く政策の具現實行の手段方法であるのでこれらに通曉し得て始めて適正を期することが出來る滿洲國の政策指導は關東軍參謀部第四課の主掌するところであり軍需動員關係は同第一課の主掌である從つて野鐵がこれらに關する輸送に連携はることは關東軍としては避ける方針であつた又滿洲國政府はその成立の當初より鐵道は滿鐵委託經營としその管理權は基本協約により關東軍司令官の手に在らしめた。即ち管理權の發動による鐵道監督の立場に在る關東軍交通監督部門（行政監督、事業監督凡てを含む）に於て輸送全般の監督指導業務を收攬するのが常道である。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

關特演以後滿鐵に総動員輸送の現況調査に當らしめたるは「本來の任務に支障を來さざる範圍」に限られたのであり又現況調査の範圍である。一般輸送の處理に任ずるにはその能力上より無理があるのみならず兎角情實を伴ひ興味多き軍事輸送以外の輸送に主力を傾注することになり易い。それなくとも軍事輸送の仮名を借りて低率なる運賃にて一般物資を輸送せんとする業者の存在する状況なるを以て軍人が輸送面を通じて誘惑に陷ることは極力防止すべきである。

鐵道以外の輸送統制

鐵道輸送統制強化に伴ひ北滿水運の全面的利用を策しこれを輸送計畫に織り込むことにした。北滿水運は四月下旬開江期より十一月封江迄の約半歳の利用であつて冬期輸送の繁忙期利用し得ない不利あるも沿線物資特に哈爾濱、佳木斯間は有效に利用することが出來る然し國境河川が蘇連の國境閉鎖により輸送量殆んどなき

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

狀態に於ては総輸送量一〇乃至二〇万屯の間に在りて鐵道輸送の緩和には余りなりかつた主要なる輸送物資は石炭と薪炭、木材であつた。鐵道に連接する海運の輸送統制を始めた但し海運に關しては日本内地と綜合的に計畫する必要があるので日本政府（企畫院）の策定する海上輸送計畫に基き主として大連を中心とする船舶輸送計畫を策定した。本計畫は軍事輸送以外のものに對し關東局、關東軍兩方面の主任者を以てする。統制委員會を以てこれに當らしめた但し滿洲國畫船にありては關東軍指導の下に滿洲國交通部主管してこれが輸送に任ぜしめた（兩方物資の對滿輸送等）

5. 鐵道輸送の盛路打開

鐵道輸送を阻害する原因は各方面に存在し夫々對策を講ぜられつつあつたが當時急激にその缺陷を增大したものは施設の不備に基く操車能力の不足と荷役小運送能力の不足である。

前者は奉天を筆頭とし新京、哈爾濱、牡丹江等大量輸送を扱ふ操

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

車場である。蓋し滿洲の鐵道施設は特産の海港向け輸送を主体として設計せられありたるものが兵備充實と生産擴充の進行に伴ひ寧ろ輸入が輸出を凌駕し滿特演以後一層これに拍車をかけ遂に奉天は發着貨車增加のため操車に行き窮りを生じその他北滿主要驛に於ても逐次飽和狀態に進んだこれがため應急施設と荷役力增強による車輛滯留時間の減少とにより辛うじて急場を切り拔けたが滿根は根本的に排除しなければならぬ。後者は主として北滿に於けるものである國際運輸の能力を總動員して北滿にこれを繰り出しても全面的救濟とはならぬ止むを得ず軍隊自ら荷役、小運送に任じたことは既述せる通りである。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp